

平成17年度6月補正予算案の概要

京 都 府



編成の基本的な考え方

- 緊急に取り組むべき、北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策を中心に、国からの受託事業や中高一貫教育校に係る経費等について予算措置

補正予算の規模

一般会計 約2億円

特別会計 約2千万円



北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策

JR福知山線列車事故を踏まえた課題

◆制限速度の遵守の徹底

直線部分と速度差の大きいカーブ対策
ポイント、下り急こう配対策

◆脱線防止対策

◆乗務員の安全運行支援



北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策

緊急整備が必要なカーブの考え方

国の試算	20km/h以上 (R = 400未満)	30km/h以上 (R = 400以上)
府基準	15km/h以上	

カーブ以外のポイント、下り急こう配部等の安全対策について、国は引き続き検討

府の緊急安全対策の考え方

速度照査型ATS - SWの増設

	国の試算	府措置	
カーブ	4箇所	国の試算 に上乘せ	* 20箇所程度
ポイント 下り急こう配部	検討中	先行整備	52箇所

* 具体的な整備必要箇所は、今後整備計画を策定する中で決定



北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策

府の緊急安全対策の考え方

脱線防止ガードの増設

脱線事故が起こった場合の被害を最小限に食い止める

独自整備 5 区間

速度制限標識等の増設・取替

乗務員の安全運行を支援する標識の設置

独自整備 170 箇所



北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策

その他の対策

- ◆事故想定「凶上訓練」(5月25日実施済)
- ◆列車乗務員への添乗指導
(事故発生翌日(4月26日)から現在も実施中)
- ◆今後も実地訓練等を行い、安全運行を徹底